

新宿公民館便り

～つどい まなび つなぐ～



令和5年度 第9号
令和5年10月2日(月)
発行 千葉市新宿公民館
住所 中央区新宿 2-16-14
電話 043-243-4343

夏と秋のせめぎあいが続く。今年の夏はかなり頑張った。なかなか秋の登場を許してくれない。彼岸花をまだあまり見かけていないのは気のせいかな。調べたところ、地中の温度が開花に影響するらしい。朝晩はやっと涼しさも感じられるようになって、これから真っ赤な花が咲き並ぶのだろう。

来館された方のおしゃべりから・・・「赤い花がきれいですねえ。でも少しもの悲しいような・・・。」

主催事業報告

「終活セミナー」 9月13日(水)

【しゅうかつ】・・・高校生、大学生の『就活』ではありません。『朝活』、『腸活』、『婚活』とか『ポイ活(ポイントを集める)』なども、最近よく耳にするようになりました。今回は『終活』・・・終わり、と聞くとあまり明るい話題ではないようですが、誰もが避けて通れない宿題のような気がします。



講師に行政書士の日野先生をお迎えし、「相続・遺言」についてお話いただきました。軽妙な語り口で、具体的な事例も紹介しながらわかりやすい内容でした。特に、法律を知っておくことが自分の身を助ける、とのことを強調されていました。

「終活」といっても、個人によって抱える課題は様々です。金銭にかかわること以外にも“家じまい”や“墓じまい”について知りたい方はいるでしょう。年を重ね、「終活」について考えをめぐらす、“はじめの一步”になれば幸いです。

講座終了後のアンケートの一部を紹介します。
・相続について具体的でよかった。法律を知っていると自分に味方してくれることは参考になった。またこのような講座をもうけてもらいたい。
・まだよく理解できていないので詳しく知りたい。差し迫った状況にあつたので参考になった。またお話をぜひお願いします。
・普段の生活で法律をあまり考えることは少ないが、もっと知って、利用していけば広がると思う。
・具体的な事例を楽しい話術で聞かせてもらいました。また機会があれば参考にしたいです。
・相続の大変さを実感しました。
・“終活”についての話が聞きたかった。

主催事業予定 10月7日(土)

「ウチ化石研究の世界」(講演会)

今回の事業はオンライン配信ということで、生涯学習センターで行われている講演会を、そのまま新宿公民館講習室で視聴できる講座です。

講座のタイトルから頭の中は？？？でいっぱいになります。化石？ウチ？・・・謎だらけです。ですから、なおさら興味がわきませんか？

今回は世界的にも少ない、ウチ化石研究の専門家、千葉大学の先生に教えていただきます。マニアックな古生物の化石の世界が広がると思います。どうぞ、お越しください。

変わることは大切な

大切ですよ、変わっていくことは。でもね・・・、と言いたくもあるのです。

先日、「新宿公民館ではスマホ教室はありますか？」とご高齢の方が事務室にみえました。1月に予定していることを話したのですが、「QRコード」の使い方がわからないとのことでした。私もほとんど使ったことはありません。その方は「最近は何んでも QR コードから・・・と言われる。NHK のニュースにもこれが出てくる。困っちゃいますよ。」と。確かに目の前にある「市民便利帳」の表紙にも QR コードが載っていて、スマホをかざすと市政情報や災害緊急情報について閲覧できるようになっていました。「申し込みはこちらから」と、QRコードが紹介されているものもあります。私は、その、冊子になっている市民便利帳があればいいので、その方の向上心には感心しました。

そんな時、朝日新聞の天声人語を読みました。この記事を読んで、皆さんはどうお考えですか？

令和5年9月24日(日)の天声人語より

『ドラえもん』に出てくるセワシくんは、のび太の子孫である。彼は22世紀の世界に暮らしているが、あまり幸福そうには見えない。未来人たちには便利な道具がたくさんあるのに、現代人と同様に、ときに空虚な笑いを浮かべ、妙に言葉にとげがある。なぜだろう▼ひとは便利な道具だけでは幸せになれない。のび太を幸福にするものは、どこでもドアとかタケコプターではなく、ドラえもんとの友情なのだ。人気漫画はそんなことを教えてくれていると、ずっと思ってきた。

▼でも、最近は何の疑問も感じている。科学の進歩で、ドラえものの道具に近いものが次々と現実になりつつある時代、便利の意味がよく分からなくなってきたからだ。何でもスマホで手続するのが、本当に便利なのか。そもそも便利って何なの？▼アイフォーンの新機種「15」が発売された。新しい機能が満載らしい。楽しみだという人も多いようだが、私の気持ちはワクワクにはほど遠い。スマホも家電も車も、頻繁に買い替えを迫られる。もう十分だと思ってしまう▼いまあるものを修理し、使い続けるのが、どうしてこんなに難しいのだろうか。「古くならぬことが新しいのではないですかね」。昭和の映画監督、小津安二郎の名言を思い出した▼変わる大切さとともに、昨日と同じように今日があることの尊さをかみしめる。私たちはもう立ち止まれないのか。もしそう問えば、ドラえもんは何と答えるだろう。どんな道具を、出してくれるだろう。

人として、便利な道具に取って代わられたり便利な道具によって変えられたりしてしまわないように生きていきたいものですね。

千葉県生活応援キャンペーン

『キャッシュレス決済体験会』のご案内(ポスター)

千葉県経済企画課の事業として、市民生活の支援を目的に上記のキャンペーンが展開されます。ポイント還元キャンペーンは10月1日からだそうです。キャッシュレス決済の体験会やスマホ教室が市内各地で開催されますので、ポスターをご覧になって、開催日時等を確認して参加してみたいかがでしょう。

生涯学習センター 停電のお知らせ

10月23日(月) 生涯学習センターと中央図書館が、電気設備定期点検のため停電となります。そのため、公民館のネット予約ができません。窓口での予約に来られた場合は、翌日24日(火)の9時にネット入力になりますのでご了解ください。

文化祭の概要が決まりました

9月23日(土)に実行委員会が開かれました。今年度当番団体の実行委員の仕事内容や役割分担が決まりました。欠席された団体にも役割が割り振られますので、前日準備や当日の係の活動などご協力をお願いします。プログラムは10月2日(月)には各団体のレターケースに配布されますのでご覧ください。

また、9月23日の実行委員会で配布された資

料も各団体のレターケースに配布されています。開催にあたってのお願いや注意点、演技発表順、展示場所など書かれてありますので、各団体で共通理解しておいてください。

インフルエンザ注意報発令中！

ニュースでも報道されているように、季節外れのインフルエンザが流行しているようです。市内の小中学校では、先週から多くの学校で学級閉鎖にしているようです。千葉県は9月20日付けでインフルエンザ注意報を発令しています。昨年度の発令は寒さ厳しい2月でしたので、なぜ今？と不思議でもあります。3年余りのコロナ禍がこんなところにも影響しているのでしょうか。どうも私たちのからだの中にあるはずの抵抗力・免疫力なるものが弱ってしまったのではないのかとも思うのです。

そう考えても仕方ないことなので、予防していくしかありません。「手洗い」「うがい」「咳エチケット」が肝要です。そして・こまめな手洗い・適度な湿度・休養とバランスのとれた栄養・人込みへの外出を控える・こまめな換気・予防接種・・・などを心がけて生活していくしかないようです。

コロナの次はインフルエンザにも備えなければいけない季節へと移ってきました。皆さん、ご注意を。

【季節の風景】

大多喜方面の田園地域には、赤トンボが飛び交っていました。赤トンボというトンボがいるわけではなく、これは胴が赤いトンボの総称だそうです。秋茜、姫茜、舞妓茜などいるそうです。秋の代表的な虫ですね。

田んぼ、稲穂、赤トンボ、夕焼け・・・「夕焼け小焼けの赤トンボ～」は日本人なら誰でも歌えますよね。イメージどおりの日本の秋の風景が大多喜に広がっていました。皆さんがイメージする秋は、どんな風景が広がっていますか。

呼び覚ます 線香花火 曼珠沙華

～心の中で手を合わせました～
(新宿公民館 館長 迎 浩二)



【新宿公園に咲くヒガンバナ】